

まちづくり交付金 事後評価シート

原良地区

平成21年12月

鹿児島県鹿児島市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	鹿児島県	市町村名	鹿児島市	地区名	原良地区			面積	104.3ha			
交付期間	平成17年度～21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	7311.4	国費率	0.4					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
	基幹事業		公園(薬師公園)、地域生活基盤施設(環境学習交流フィールド、情報板)、高質空間形成施設、高次都市施設、土地区画整理事業									
	提案事業		地域創造支援事業(かごしま環境未来館施設整備事業)、まちづくり活動推進事業(環境基本計画推進事業、環境保全推進事業、学校版環境ISO創設事業、福祉ふれあいフェスティバル事業)									
	当初計画から削除した事業		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	基幹事業		公園(かけごし公園、原良第二公園)、地域生活基盤施設(駐車場)		公園について、土地区画整理事業の進捗状況から、計画期間内の整備が困難となったため削除した。 ・地域生活基盤施設について、当初計上していた駐車場の用地費等を、高次都市施設・地域創造支援事業(かごしま環境未来館施設整備事業)に付帯して整備される駐車場として、それぞれの交付対象事業に計上したため、削除した。		指標4の「公園(避難場所)までの平均距離」が達成されない状況である。					
	提案事業		まちづくり活動推進事業(リデュース・リユース・リサイクル推進事業)		計画の見直しにより削除した。		影響なし					
新たに追加した事業		基幹事業		高質空間形成施設(モニュメント)		かごしま環境未来館の施設として追加した。		影響なし				
提案事業		地域創造支援事業(公共下水道整備事業)		快適な生活環境の確保、公共用水域の水質保全を図るため追加した。		影響なし						
交付期間の変更		当初	平成17年度～平成21年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし						
変更		なし										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	ごみのリサイクル率	%	14.3	H15	23.8	H21	16.4	△	あり	かごしま環境未来館の整備や環境保全推進事業の実施により、市民の環境への理解が深まり、ごみの分別・リサイクルの意識向上が図られた。 なお、リサイクル率については、目標値に達しなかったものの、全中核市の平均と同等の伸びを示している。 【全中核市】 H15 16.2% H19 19.7%	平成22年6月
	指標2	老朽化住宅率	%	30.5	H16	20.3	H21	19.4	○	あり なし	老朽化住宅率が減少し、地区内の安全性が向上した。	平成22年7月
	指標3	市民活動調査	%	20.7	H15	30.0	H21	47.5	○	あり なし	福祉ふれあいフェスティバル事業やかごしま環境未来館での啓発・研修活動により、市民活動が推進され、都市再生整備計画区域外での活動にも波及した。	
指標4	公園(避難場所)までの平均距離	m	195	H16	85	H21	103	△	あり なし	薬師公園が完成し、災害時の避難場所及び地域コミュニティの場となる公共空間が確保された。		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1	来館者数	人/年	0	H16		223,208			かごしま環境未来館の整備により、まちづくりに参加できる交流拠点が提供され、市民の交流が図られた。	平成22年5月	
	その他の数値指標2	講座受講者数	人/年	0	H16		3,608			かごしま環境未来館での啓発・研修活動により、環境保全に対する意欲の向上が図られた。	平成22年5月	
	その他の数値指標3	ボランティア登録団体数	団体	10	H16		18			福祉ふれあいフェスティバル事業やかごしま環境未来館での啓発・研修活動により、市民活動が推進された。	平成22年5月	
その他の数値指標4	住民の安心・安全満足度	%	21	H16		45			公共施設の整備により、居住環境の改善と安全性の向上が図られた。			
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・連携・交流拠点が整備され、市民の交流が推進された。 ・環境問題に関する意識の向上が図られた。 ・市民活動が推進された。 ・土地区画整理事業の実施で道路が整備されたことにより、消防車や救急車等の緊急車両の通行が可能となり、市民の安心・安全に貢献した。 ・良好な居住環境が形成され、都市景観が向上した。 											
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	公園整備に係る住民説明会 かごしま環境未来館に係るパブリックコメント		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地域住民の意見を反映したまちづくりに努める。				
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

原良地区(鹿児島県鹿児島市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
大目標:人と環境にやさしい快適なまちづくり 目標1:市、市民、事業者の相互の連携・交流を図り、環境問題への関心と理解を深め、環境保全活動に対する意欲の高揚、エコライフの自発的な実践に繋がる施設を提供する。 目標2:公共施設の整備改善を行うことにより密集市街地を安全で快適な街並みに再生するとともに、良好な住環境の整備を図り、安心して暮らせるまちづくりを行う。 目標3:市民の連携・交流ができ、環境、福祉などのまちづくりへの意識が向上できるように、啓発・研修活動を実施する。	ごみのリサイクル率	単位: %	14.3 H15	23.8 H21	16.4 H21
	老化化住宅率	単位: %	30.5 H16	20.3 H21	19.4 H21
	市民活動調査	単位: %	20.7 H15	30.0 H21	47.5 H21
	公園(避難場所)までの平均距離	単位: m	195 H16	85 H21	103 H21



高次都市施設
地域生活基盤施設



公園



高質空間形成施設



原良第二土地区画整理事業



原良第三土地区画整理事業

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設が未整備の区域について、引き続き公共施設の整備改善を行う。 土地区画整理事業が進捗した区域において、従前の住居表示をそのまま使用しており、街区別に整理されていないため、新住居表示を行う必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設が整備された区域について、改善された居住環境を維持するため、市民と協働した公共施設の適切な維持管理に努める。 かごしま環境未来館に設置された環境パートナーシップの事務局を活用し、行政・事業者・市民が協働して取り組む環境保全のパートナーシップの拡充に努める。 かごしま環境未来館での啓発・研修活動等を行い、環境保全活動に対する意識の向上と自発的な行動を促すとともに、人材を育成し、活動を他地域にも普及させる。 公共施設が未整備の区域について、引き続き公共施設の整備改善を行い、安全で良好な居住環境の形成を図る。 土地区画整理事業が進捗した区域において、早い時期に新住居表示を行う。